

# 「ヨナタンの子への恵み」

2026.6.24

聖書に学ぶ 46

Ⅱサムエル記 9:1~13

新聖歌 195・292

ダビデは主によって、サウルの家との5年以上続く長い戦いの末、イスラエルの王になり、近隣諸国とも戦い、その全てに勝利する事ができました。その後ダビデは、国内の事に心を配る中、ヨナタンとの約束を思い出しました。ヨナタンの子メフィボシエテは、ダビデによって見つけ出され、救われたのです。

今回のこの出来事は、私たちが神の恵みによって、救いに預かることとよく似ています。

## 今日の学びの要点

ダビデはヨナタンの家との契約を守り、その子メフィボシエテを落ちぶれて入るところから救い出し、厚遇しました。私たちは主イエス・キリストの十字架の血によって、滅びの中から救い出され、神の子となる特権に預かっているのです。

## I、ヨナタンとの約束 (Ⅱサムエル記 9:1~7)

1、ダビデは行く先々で勝利を与えられた後、イスラエルの内政に着手しましたが、思い出したのは何でしょうか。(Ⅱサムエル記 9:1)

2、ダビデはサウル家のしもべ、ツィバから何を聞き出しましたか。

①イシュ・ボシエテが死んだ後、サウル家で残された者は、誰でしたか。

I 歴代誌 8 : 33,34 で確認しましょう。

(エシュバル=イシュ・ボシエテ、メリブ・バル=メフィボシエテ)

②ダビデは誰の恵みを施すと言っていますか。(Ⅱサムエル記 9:3)

3、メフィボシエテはどのような人でしたか。

①祖父サウルと父ヨナタンが戦死したとき、何があったのでしょうか。

(Ⅱサムエル記 4:4、9:13)

②ダビデが王になった後は、自分の家もなく、隠れるように暮らしていた。

(マキル(マナセ人?) という人の家に居候)

## Ⅱ、死んだ犬のような者 (Ⅱサムエル記9:8~16)

1、ダビデはメフィボシエテに「恵みを施そう」と言っていますが、その理由は何でしょうか。

- ① Iサムエル記 18：3 --- まだダビデがゴリアテを倒してすぐの頃。
- ② Iサムエル記 20：14~17--- 約束をヨナタンとした。
- ③ Iサムエル記 23：18--- 契約をヨナタンとした。

2、メフィボシエテは、自分はどのような者と言っているでしょうか。

- ・「死んだ犬」… 死んで役に立たない、目障りで、邪魔なもの

## Ⅲ、メフィボシエテと主イエスを信じる者との共通点

1、サウルの家はダビデの家と敵対していた。

- ① 私たちも救われる前は、神に敵対していた
- ② 「死んだ犬」のように罪のうちに死んでいた。(エペソ 2:5)

2、メフィボシエテはヨナタンのために恵みに預かった。

- ① ダビデの方から呼び出された——神様の方からの働きかけで救われた。
- ② 私たちも、主イエス様の十字架の苦しみのために恵みによって救われた。
- ② 王の食卓に迎えられる——王の息子のように神の家族の一員